

補助金調書

補助金名	地域振興補助金			担当課 (連絡先)	次項からの個別補助金調書に 記載
交付先	団体	区レベルの 地域活動推進協議会等		区分	その他の補助金
交付先決定方法	公募／非公募	(公募の場合) 公募時期	次項からの個別補助金調書に記載		
(公募の場合) 応募要件	次項からの個別補助金調書に記載				
(非公募の場合) 非公募の理由	次項からの個別補助金調書に記載				
補助開始年度	-	年度	経過年数	-	年度
補助金の目的 及び 補助対象事業	区レベルにおいて地域活動を行っている団体に交付される補助金であり、交通安全、スポーツ、地域活性化の3分野において事業補助を行う。 複数分野にわたる補助金であるため、詳細は事項からの個別補助金調書に記載。				
補助金の終期	-	年度	延長回数	-	回
終期を延長する 理由	次項からの個別補助金調書に記載				
交付対象経費及び 補助金の算定方法等	その他	【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】 補助金により、補助対象経費や補助金額の算定方法が異なる。 詳細は次項からの個別補助金調書に記載。			
(間接補助の場合) 間接補助とする理由 及び再交付先への配 分基準、審査基準	【間接補助の理由、再交付の配分基準・審査基準】				
交付状況等 【上段:交付件数】 【下段:決算】 (※1)	当該年度	前年度	前々年度	前々々年度	
	件	(17) 件	19 件	14 件	
	8,133 千円	(5,770) 千円	6,290 千円	5,054 千円	
前年度補助事業 の主な実施概要	区レベルにおいて地域活動を行っている団体に交付される補助金であり、交通安全、スポーツ、男女共同参画、地域活性化の4分野において事業補助を行った。				
補助金交付 による効果	区レベルでの地域活動への支援を行うことにより、地域コミュニティの活性化に寄与している。				

※1:金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。なお、当該年度は当初予算額を記載しております。また、前年度決算額について、補助額の確定が未了のものは、交付件数および交付決定額を外数として()書きで記載しております。

補助金調書

補助金名	地域振興補助金 (区交通安全対策推進事業補助金)			担当課 (連絡先)	市民局生活安全部防犯・交通安全課 (TEL 711-4061)	
交付先	■ 団体	区レベルの地域活動推進協議会		区分	その他の補助金	
交付先決定方法	■ 非公募	(公募の場合) 公募時期				
(公募の場合) 応募要件						
(非公募の場合) 非公募の理由	<p>区交通安全推進協議会は、本市の交通事故の根絶、その他交通の安全と円滑を図るために実施する諸事業を鑑み、本市の交通安全に寄与し、市民の福祉の向上に多大な役割を果たすことを目的としている。</p> <p>この目的を遂行するために、区交通安全推進協議会の委員は市内の各行政機関や県警察、各種交通関係団体、企業等の代表者で構成されており、このように官民が一体となり福岡市全体で交通安全推進に取り組む団体は外にない。</p> <p>以上のことから、本補助金は公募に馴染まないものである。</p>					
補助開始年度	昭和47	年度	経過年数	53	年度	
補助金の目的 及び 補助対象事業	<p>【目的】 福岡市の交通安全思想の普及・啓発及び交通安全教育の充実強化を図り、交通事故のない快適で安全なまちづくりを推進するもの。</p> <p>【対象事業】 (1)交通安全思想の普及 (2)交通安全教育の強化 (3)道路等の整備促進 (4)交通安全施設の整備促進 (5)交通環境の整備促進 (6)その他</p>					
補助金の終期	令和6	年度	延長回数	2	回	
終期を延長する理由	本市は交通安全対策に関する施策を実施する責務があり、推進協議会のような県警や関係団体等と一体となって幅広い啓発を行うことがより効果的な取り組みにつながることから、補助金の継続は必要である。					
交付対象経費及び補助金の算定方法等	■ その他	<p>【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】 ・補助対象経費 四季の交通安全運動時の啓発物購入費等 ・補助金額の算定方法・考え方 事業を実施し、目的を達成していくために必要な額</p>				
(間接補助の場合) 間接補助とする理由 及び再交付先への配 分基準、審査基準	【間接補助の理由、再交付の配分基準・審査基準】					
交付状況等 【上段:交付件数】 【下段:決算】 (※1)	当該年度	前年度	前々年度	前々々年度		
	件	4(3) 件	7 件	7 件	7 件	
	4,238 千円	2,663(1,340) 千円	4,164 千円	3,935 千円		
前年度補助事業 の主な実施概要	四季の交通安全運動の実施 交通安全教室、街頭キャンペーンなどの実施					
補助金交付 による効果	交通事故や飲酒運転事故の発生件数が年々減少傾向にある。					

※1:金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。なお、当該年度は当初予算額を記載しております。また、前年度決算額について、補助額の確定が未了のものは、交付件数および交付決定額を外数として()書きで記載しております。

補助金調書

補助金名	地域振興補助金(東区地域スポーツ活動補助金)			担当課 (連絡先)	東区総務部生涯学習推進課 (TEL:092-645-1121)	
交付先	■ 団体	地域スポーツ・レクリエーションの振興を目的に区を単位として組織された種目別スポーツ団体で、かつ、東区役所と共催事業を実施している団体。			区分	その他の補助金
交付先決定方法	■ 非公募	(公募の場合) 公募時期				
(公募の場合) 応募要件						
(非公募の場合) 非公募の理由	本補助金は、東区区役所と共催事業を実施している団体に限るため。					
補助開始年度	令和4	年度	経過年数	3	年度	
補助金の目的 及び 補助対象事業	種目別スポーツ団体の事業を支援することにより、スポーツ種目の普及振興および地域におけるスポーツ・レクリエーションの推進を図ることを目的とする。 (交付対象事業) (1) 団体が主催する校区対抗スポーツ大会 (2) その他区長が目的達成に必要と認める事業					
補助金の終期	令和6	年度	延長回数	0	回	
終期を延長する理由	スポーツ種目の普及振興および地域におけるスポーツ・レクリエーションの推進を図ることを目的に活動し、毎年市民総合スポーツ大会の区代表チームを決定する「区大会」も開催している。地域活性化に大いに貢献しており、補助金の交付が今後の活動の継続・発展に必要であるため。					
交付対象経費及び 補助金の算定方法等	■ その他	【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】 ・補助対象事業の実施に要する経費。ただし、人件費、活動内容自体の委託費、食糧費(事業実施のための必要最低限の昼食代、茶菓代等は可)、その他区長が不適切と認めるものは除く。 ・補助金額は予算の範囲内とする。				
(間接補助の場合) 間接補助とする理由 及び再交付先への配 分基準、審査基準	【間接補助の理由、再交付の配分基準・審査基準】					
交付状況等 【上段:交付件数】 【下段:決算】 (※1)	当該年度	前年度	前々年度	前々々年度		
	件	4 件	4 件	件		
	280 千円	229 千円	280 千円	千円		
前年度補助対象事業 の主な実施概要	区レベルの各種スポーツ大会を実施。					
補助金交付 による効果	地域のスポーツ・レクリエーションの推進を目的に区を単位として組織された種目別スポーツ団体の事業を支援することにより、スポーツ種目の普及振興および地域コミュニティの活性化に寄与する。					

※1:金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。なお、当該年度は当初予算額を記載しております。また、前年度決算額について、補助額の確定が未了のものは、交付件数および交付決定額を外数として()書きで記載しております。

補助金調書

補助金名	地域振興補助金(南区地域スポーツ活動補助金)			担当課 (連絡先)	南区総務部企画振興課 (TEL 559-5064)
交付先	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 団体	区レベルの 地域活動推進協議会等		区分	その他の補助金
交付先決定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	(公募の場合) 公募時期	4月から5月末(交付申請をする場合は、同期間内に事前協議が必要)		
(公募の場合) 応募要件	地域のスポーツ・レクリエーションの推進を目的に区を単位として組織された、種目別スポーツ団体。				
(非公募の場合) 非公募の理由					
補助開始年度	平成18	年度	経過年数	19	年度
補助金の目的 及び 補助対象事業	スポーツ種目の普及振興及び地域におけるスポーツ・レクリエーションの推進のため、団体が主催するスポーツ・レクリエーション振興を目的とした事業等を対象とする。				
補助金の終期	令和6	年度	延長回数	1	回
終期を延長する理由	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体が自主的に大会運営を行えるため。 ・区としてもスポーツの振興を推進するため。 				
交付対象経費及び 補助金の算定方法等	<input checked="" type="checkbox"/> その他	【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】 ・補助金対象事業の実施に要する経費。ただし、人件費、活動内容自体の委託費、食料費(事業実施のため必要最小限の昼食代、弁当代、茶菓代は可)、その他区長が不適当と認める経費を除く。			
(間接補助の場合) 間接補助とする理由 及び再交付先への配 分基準、審査基準	【間接補助の理由、再交付の配分基準・審査基準】				
交付状況等 【上段: 交付件数】 【下段: 決算】 (※1)	当該年度	前年度	前々年度	前々々年度	
	件	2 件	2 件	2 件	
	160 千円	140 千円	140 千円	72 千円	
前年度補助事業 の主な実施概要	区レベルの各種スポーツ大会等を実施。				
補助金交付 による効果	区レベルの各種大会等を開催することによって、地域のスポーツ・レクリエーション活動の振興及び地域コミュニティの活性化に寄与している。				

※1: 金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。なお、当該年度は当初予算額を記載しております。また、前年度決算額について、補助額の確定が未了のものは、交付件数および交付決定額を外数として()書きで記載しております。

補助金調書

補助金名	城南区地域スポーツ振興奨励事業補助金			担当課 (連絡先)	城南区総務部企画振興課 (TEL 833-4065)
交付先	団体	区を単位として組織されたスポーツ団体		区分	その他の補助金
交付先決定方法	公募	(公募の場合) 補助金を受けようとする前年度の7月初旬から8月末(事前協議を公募で受け付ける) 公募時期			
(公募の場合) 応募要件	当該スポーツの普及振興もしくは地域のスポーツ・レクリエーションの推進を目的とし、区を単位として組織されたスポーツ団体				
(非公募の場合) 非公募の理由					
補助開始年度	平成24	年度	経過年数	13	年度
補助金の目的及び補助対象事業	当該スポーツ種目の普及振興及び城南区の地域におけるスポーツ・レクリエーションの推進を図ることを目的とし、団体が主催するスポーツ・レクリエーション振興事業を補助対象としている。				
補助金の終期	令和6	年度	延長回数	2	回
終期を延長する理由	現在補助金を交付している団体は、住民が主体となってスポーツを通じた住民交流や心身の健全と体力づくりの促進を図ることを目的に活動し、毎年市民総合スポーツ大会の区代表チームを決定する「区大会」も開催している。地域の活性化に大いに貢献しており、補助金の交付が今後の活動の継続・発展に必要であるため。				
交付対象経費及び補助金の算定方法等	その他	【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】 補助基本額20,000円 校区体育振興団体に推薦されたチームでの区大会を実施している場合、1大会あたり60,000円を加算(上限120,000円) 高齢者もしくは障がい者で構成される団体の場合10,000円を加算			
(間接補助の場合) 間接補助とする理由及び再交付先への配分基準、審査基準	【間接補助の理由、再交付の配分基準・審査基準】				
交付状況等 【上段: 交付件数】 【下段: 決算】 (※1)	当該年度	前年度	前々年度	前々々年度	
	件	(2) 件	2 件	2 件	
	220 千円	(220) 千円	220 千円	20 千円	
前年度補助事業の主な実施概要	区レベルの各種スポーツ大会、スポーツ・レクリエーション行事の開催。				
補助金交付による効果	区レベルの各種大会を開催することにより、スポーツを通じた住民交流や地域のスポーツ・レクリエーション活動の振興が図られ、地域のコミュニティ活性化に寄与する。				

※1: 金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。なお、当該年度は当初予算額を記載しております。また、前年度決算額について、補助額の確定が未了のものは、交付件数および交付決定額を外数として()書きで記載しております。

補助金調書

補助金名	地域振興補助金 (区体育振興事業補助金)			担当課 (連絡先)	市民局スポーツ推進部スポーツ推進課 (TEL711-4657 内線1821)
交付先	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 団体	早良区体育振興会		区分	その他の補助金
交付先決定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	(公募の場合) 公募時期			
(公募の場合) 応募要件					
(非公募の場合) 非公募の理由	本補助金は、区におけるスポーツ・レクリエーション活動の普及、振興を図り、併せて市民相互の親睦・融和等を図ることを目的とする区体育振興会が実施する事業に対して補助を行うものであるため。				
補助開始年度	昭和48	年度	経過年数	52	年度
補助金の目的 及び 補助対象事業	区体育振興会が実施する事業を補助することにより、地域におけるスポーツ・レクリエーションの振興を図ることを目的とする。 (補助対象事業) (1) 区体育振興会が主催・共催する、スポーツ・レクリエーション振興を目的とした事業 (2) 区体育振興会が地域のスポーツ活動の活性化を目的として行う、地域スポーツ団体への助成事業 (3) その他区長が目的達成に必要と認める事業				
補助金の終期	令和6	年度	延長回数	2	回
終期を延長する理由	区体育振興会による主体的なスポーツ振興事業を通じて、区全域で効果的な研修会や講習会が実施されており、スポーツによる校区を超えた住民の交流が活発に行われ、地域の連帯感や絆づくりに貢献していることが認められるため。				
交付対象経費及び補助金の算定方法等	<input type="checkbox"/> 定額 <input type="checkbox"/> 定率 <input checked="" type="checkbox"/> その他	【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】 ・補助対象事業の実施に要する経費。ただし、人件費、活動内容自体の委託費、食糧費(事業実施のために必要最小限の昼食代、弁当代、茶果代、懇談費等は可)、その他区長が不適当と認めるものを除く。 ・補助金額は予算の範囲内			
(間接補助の場合) 間接補助とする理由 及び再交付先への配 分基準、審査基準	【間接補助の理由、再交付の配分基準・審査基準】				
交付状況等 【上段: 交付件数】 【下段: 決算】 (※1)	当該年度	前年度	前々年度	前々々年度	
	件	1 件	1 件	1 件	
	970 千円	970 千円	970 千円	666 千円	
前年度補助事業 の主な実施概要	・区レベルでの体育・スポーツ・レクリエーション行事の開催。 ・市民の体育・スポーツ・レクリエーション活動の奨励および指導・援助。				
補助金交付 による効果	区レベルのスポーツ・レクリエーション行事の開催等によって、地域のスポーツ・レクリエーション活動の振興および地域コミュニティの活性化に寄与している。				

※1: 金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。なお、当該年度は当初予算額を記載しております。また、前年度決算額について、補助額の確定が未了のものは、交付件数および交付決定額を外数として()書きで記載しております。

補助金調書

補助金名	早良区スポレク(早良区親善ママさんバレーボール大会事業補助金)			担当課 (連絡先)	早良区総務部地域支援課 (TEL833-4403 内線435)
交付先	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 団体	早良区ママさんバレーボール振興会	区分	その他の補助金	
交付先決定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	(公募の場合) 公募時期			
(公募の場合) 応募要件					
(非公募の場合) 非公募の理由	補助事業を行う団体が早良区ママさんバレーボール振興会に限定されるため。				
補助開始年度	平成30年度	経過年数	7年度		
補助金の目的 及び 補助対象事業	本補助金は、福岡市市民総合スポーツ大会の区対抗競技となっている福岡市ママさんバレーボール大会に早良区代表を選出するために実施する早良区親善ママさんバレーボール大会事業に要する費用の一部を助成することにより、同大会を通して、地域や世代をこえた絆づくりと校区間の親睦・交流を図ることを目的とする。 (補助対象事業) 早良区親善ママさんバレーボール大会事業				
補助金の終期	令和6年度	延長回数	1回		
終期を延長する理由	早良区親善ママさんバレーボール大会事業を通して、地域や世代をこえた絆づくりと校区間の親睦・交流が活発に行われ、地域の連帯感や絆づくりに貢献していることが認められるため。				
交付対象経費及び補助金の算定方法等	<input type="checkbox"/> 定額 <input type="checkbox"/> 定率 <input checked="" type="checkbox"/> その他	【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】 ・補助対象事業の実施に要する経費。ただし、人件費、活動内容自体の委託費、食糧費(事業実施のために必要最小限の昼食代、弁当代、茶果代、懇談費等は可)、その他区長が不適当と認めるものを除く。 ・補助金額は予算の範囲内			
(間接補助の場合) 間接補助とする理由 及び再交付先への配 分基準、審査基準	【間接補助の理由、再交付の配分基準・審査基準】				
交付状況等 【上段:交付件数】 【下段:決算】 (※1)	当該年度	前年度	前々年度	前々々年度	
	件	1 件	1 件	1 件	
	65 千円	37 千円	57 千円	1 千円	
前年度補助事業 の主な実施概要	・区レベルのママさんバレーボール大会等の開催。				
補助金交付 による効果	早良区親善ママさんバレーボール大会事業に要する費用の一部を助成することで、福岡市市民総合スポーツ大会の区対抗競技であるママさんバレーボールの早良区代表を選出し、また、同大会を通して、地域や世代をこえた地域の絆づくりとコミュニティの活性化を図ることに寄与している。				

※1: 金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。なお、当該年度は当初予算額を記載しております。また、前年度決算額について、補助額の確定が未了のものは、交付件数および交付決定額を外数として()書きで記載しております。

補助金調書

補助金名	地域振興補助金(東区花火大会補助金)			担当課 (連絡先)	東区総務部企画振興課 (TEL645-1014)	
交付先	■ 団体	区レベルの地域活動推進協議会等		区分	その他の補助金	
交付先決定方法	■ 非公募	(公募の場合) 公募時期				
(公募の場合) 応募要件						
(非公募の場合) 非公募の理由	当該補助事業を実施し、補助目的を達成し得る団体が限定されるため。					
補助開始年度	平成26	年度	経過年数	11	年度	
補助金の目的 及び 補助対象事業	<p>【補助金の目的】 博多湾東部親水空間の魅力を内外に情報発信し、賑わいのあるまちづくりを推進するため、地域団体、NPO及び市民等が共働して開催するFukuoka東区花火大会を多くの市民が安全に安心して観覧できる環境整備を支援するもの。</p> <p>【補助対象事業】 Fukuoka東区花火大会</p>					
補助金の終期	令和6	年度	延長回数	2	回	
終期を延長する理由	Fukuoka東区花火大会は、地域団体、NPO及び市民等が共働して企画・運営を行っており、東区のシンボリックなイベントとして、賑わいのあるまちづくりの推進及び博多湾東部水域の魅力発信に大きく寄与している。また、一方で、会場周辺では違法駐車や交通渋滞が発生しており、警察の指導による観覧場所の警備体制の充実強化などが依然として課題となっており、これまで以上に警備人員や安全環境整備に係る経費が必須となってきたため、引き続き事業支援を行うもの。					
交付対象経費及び補助金の算定方法等	■ 定率	<p>【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】</p> <p>○補助対象経費 来場者の案内・誘導に要する経費、会場の安全対策の検討及び警備に要する経費、花火大会を起因とする事故等に対する損害保険料、その他、花火大会を安全に安心して観覧できる環境整備に要する経費として区長が認めた費用</p> <p>○補助金の算定方法 補助対象経費の2分の1以内、予算措置額を限度とする。</p>				
(間接補助の場合) 間接補助とする理由 及び再交付先への配 分基準、審査基準	【間接補助の理由、再交付の配分基準・審査基準】					
交付状況等 【上段:交付件数】 【下段:決算】 (※1)	当該年度	前年度	前々年度	前々々年度		
	件	1 件	0 件	0 件		
	1,500 千円	1,000 千円	0 千円	0 千円		
前年度補助事業 の主な実施概要	<p>・自治会、商工会、NPOなどの地域ボランティアが協力し、より良いまちづくりや地域の活性化の実現のためにFukuoka東区花火大会の企画・運営等を行い、東区の魅力を内外に発信する。</p> <p>・実行委員会が警察等の関係機関との交通規制及び警備体制の協議・調整し、昨年度6年ぶりに開催。 (前年度は観覧者数約8万人)</p>					
補助金交付 による効果	<p>・毎年約8万人もの来場者が訪れる東区のシンボリックなイベントとなっており、賑わいのあるまちづくりの推進及び博多湾東部水域の魅力発信に大きく寄与している。</p> <p>・Fukuoka東区花火大会は自治会、商工会、NPOなどの地域ボランティアが協力し、企画・運営・関係機関との調整を行い、また、翌日には清掃活動を行うなど地域が主体的に運営しており、地域コミュニティの醸成の観点においても大きく役立っている。</p>					

※1:金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。なお、当該年度は当初予算額を記載しております。また、前年度決算額について、補助額の確定が未了のものは、交付件数および交付決定額を外数として()書きで記載しております。

補助金調書

補助金名	地域振興補助金(南区祭り振興事業補助金)			担当課 (連絡先)	南区総務部企画振興課 (TEL 559-5064)	
交付先	<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 団体	区レベルの 地域活動推進協議会等		区分	その他の補助金	
交付先決定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募	(公募の場合) 6月から7月末(交付申請をする場合は、同期間内に事前 公募時期 協議が必要)				
(公募の場合) 応募要件	南区内で継続して開催され、複数校区からの参加及び区内広範囲からの集客が見込まれる祭り事業。					
(非公募の場合) 非公募の理由						
補助開始年度	平成25	年度	経過年数	12	年度	
補助金の目的 及び 補助対象事業	南区内で継続して開催され、複数校区からの参加及び区内広範囲からの集客が見込まれる祭り事業。					
補助金の終期	令和6	年度	延長回数	2	回	
終期を延長する理由	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の祭りを保存するため ・市としても地域の祭りの振興を推進するため 					
交付対象経費及び 補助金の算定方法等	<input checked="" type="checkbox"/> その他	【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】 補助金対象事業の実施に要する経費。ただし、人件費、活動内容自体の委託費、食料費(事業実施のため必要最小限の昼食代、弁当代、茶菓代は可)、その他区長が不相当と認める経費を除く。				
(間接補助の場合) 間接補助とする理由 及び再交付先への配 分基準、審査基準	【間接補助の理由、再交付の配分基準・審査基準】					
交付状況等 【上段:交付件数】 【下段:決算】 (※1)	当該年度	前年度	前々年度	前々々年度		
	件	1 件	1 件	0 件		
	300 千円	100 千円	100 千円	0 千円		
前年度補助事業 の主な実施概要	南区内で継続して開催され、複数校区からの参加及び区内広範囲からの集客があった祭り事業を実施。					
補助金交付 による効果	祭りを振興することにより、その保存、発展に寄与するとともに、地域振興の核となる拠点の振興・創造に寄与している。					

※1:金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。なお、当該年度は当初予算額を記載しております。また、前年度決算額について、補助額の確定が未了のものは、交付件数および交付決定額を外数として()書きで記載しております。

補助金調書

補助金名	地域振興補助金 (人形芝居による地域活動参加啓発事業補助金)		担当課 (連絡先)	西区総務部地域支援課 (TEL 895-7036)	
交付先	■ 団体	今津人形芝居実行委員会	区分	その他の補助金	
交付先決定方法	■ 非公募	(公募の場合) 公募時期			
(公募の場合) 応募要件					
(非公募の場合) 非公募の理由	今津人形芝居に関する活動を通じた地域コミュニティ支援を主たる目的としており、対象団体が限られるため				
補助開始年度	平成24	年度	経過年数	13	年度
補助金の目的 及び 補助対象事業	【補助金の目的】 地域の伝統芸能を活用し、市民が人権尊重や男女共同参画等を推進する地域コミュニティ活動へ参加する意識を醸成する。 【補助対象事業】 今津人形芝居の振興・情報の発信、後継者育成、公演活動など				
補助金の終期	令和6	年度	延長回数	2	回
終期を延長する理由	人形芝居については、住民自らが活動に参加しようという意識を醸成するまでには至っていない。補助金を終了した場合、人形芝居の公演活動は有料公演で自立できる状況になっていないことから活動自体が終わってしまう可能性があるため				
交付対象経費及び補助金の算定方法等	■ 定率	【補助対象経費、補助金額の算定方法・考え方】 交付申請を受けた内容について、予算額を上限として補助対象経費を認めた額			
(間接補助の場合) 間接補助とする理由 及び再交付先への配 分基準、審査基準	【間接補助の理由、再交付の配分基準・審査基準】				
交付状況等 【上段: 交付件数】 【下段: 決算】 (※1)	当該年度	前年度	前々年度	前々々年度	
	件	1 件	1 件	0 件	
	400 千円	360 千円	360 千円	0 千円	
前年度補助事業 の主な実施概要	・人形芝居の指導・育成 ・人形芝居定期公演の実施				
補助金交付 による効果	・人形芝居鑑賞という誰もが気楽に参加できる活動を通じてコミュニティ活動参加や人権尊重啓発の機運の醸成 ・地域の伝統芸能の保全・育成				

※1: 金額総額であり、複数の団体等に交付している場合、個々の団体等への交付額等を示すものではありません。なお、当該年度は当初予算額を記載しております。また、前年度決算額について、補助額の確定が未了のものは、交付件数および交付決定額を外数として()書きで記載しております。